
第65回全国高等学校PTA連合会大会

岩手大会(案)

[概要版]



【大会期日】

平成27年8月19日(水)・20日(木)・21日(金)

< 目 次 >

I 大会要項	1
II 大会内容・会場等	2
III 大会日程	2～5
IV 日程表	6
V 分科会・特別分科会テーマと趣旨	7～9
会場位置図	10
ポスター・シンボルマーク	11

岩手県高等学校PTA連合会 岩手大会実行委員会

〒020-8515 盛岡市上田3-2-1 岩手県立盛岡第一高等学校内

TEL : 019-625-6386 FAX : 019-613-7795

E-mail : iwa_koupren@ybb.ne.jp

(平成27年4月1日)

第65回全国高等学校PTA連合会大会岩手大会要項

I 大会概要

- 1 名 称 第65回全国高等学校PTA連合会大会岩手大会
- 2 大会期日 平成27年8月19日(水)、20日(木)、21日(金)
- 3 開催場所 岩手県盛岡市、滝沢市
- 4 主 催 一般社団法人 全国高等学校PTA連合会
- 5 主 管 岩手県高等学校PTA連合会
- 6 後 援 文部科学省 全国高等学校長協会 東北地区高等学校PTA連合会
岩手県 岩手県教育委員会 盛岡市 盛岡市教育委員会 滝沢市
滝沢市教育委員会 岩手県高等学校長協会
岩手県高等学校副校長協議会 岩手県公立学校事務長会
岩手日報社 盛岡タイムス社 朝日新聞盛岡総局 読売新聞盛岡支局
毎日新聞盛岡支局 産経新聞盛岡支局 河北新報社盛岡総局
共同通信社盛岡支局 NHK盛岡放送局 IBC岩手放送 テレビ岩手
岩手めんこいテレビ 岩手朝日テレビ

7 大会趣旨

宮沢賢治は『生徒諸君に寄せる』という詩の中で、これから先の時代を築いていく学生を叱咤激励しています。詩の中で賢治は「未来圏から吹いてくる透明な清潔な風」という表現で子どもたちに進むべき未来への想像をかきたてています。未来からの風を感じ、輝かしい未来を想像し、そして行動する若人でなければならないと謳っております。

今、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わってきております。急激な社会の変化、IT革命の進展、マスメディアの発達の中で、子どもたちは何を手にして何を失ってきているのだろうか。自分は何を考え何処を目指すべきか、子どもたち自身が確信を持たずにうろろうろしていることがないだろうか。

今こそ、子どもたちに「未来圏から吹いてくる透明な清潔な風」を頬に感じて欲しい。手をかざして進むべき彼方を見つめて欲しい。そして奮い立って欲しい。そのような思いから、メインテーマは「未来圏からの風をつかめ！」と決めました。

加えて、私たち親もまた、若人のあるべき姿に思いを致し、これからの時代を担う子どもたちと共に風上の未来圏について真剣に考える時かと思うのです。サブテーマは、そうした私たち親の思いが込められております。

みちのく岩手にて、大いに風を感じ、高らかに語り合おうではありませんか。

8 大会テーマ

メインテーマ

『未来圏からの風をつかめ!』

サブテーマ

～ 新時代を担う君たちと共に～

- 9 参加者 全国高等学校PTA関係者 約10,000人(予定)
- 10 参加費 7,700円(弁当代を含む)
- 11 取扱業者 大会企画・運営・会場設営関係 (株)総合企画新和
宿泊・輸送関係 (株)JTB東北 法人営業盛岡支店
各種印刷関係 川口印刷工業株式会社

II 大会内容・会場等

1 8月19日(水)・・・前日会議

研修委員会打合せ 分科会別会議 全国事務局長会議 大会運営会議 歓迎レセプション
(分科会別会議は各分科会会場、他はホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにて)

2 8月20日(木)・・・大会第1日目

(1) (午前)開会式・基調講演

メイン会場	岩手産業文化センター(アピオ)	5,000名
サブ会場	盛岡市アイスアリーナ	5,000名

(2) (午後)分科会

分科会	テマ
全国高P連研究発表	全国国高P連研究発表(～青少年の健全育成に係る研究発表～)
第1分科会	学校教育とPTA(～「生きる力」を育む教育とPTA活動～)
第2分科会	進路指導とPTA(～「キャリア教育」の推進とPTA活動～)
第3分科会	生徒指導とPTA(～規範意識の醸成とPTA活動～)
第4分科会	家庭教育とPTA(～家庭教育の役割とPTA活動～)
特別第1分科会	情報化社会と教育(～スマートフォン・ネット依存と若者の生活スタイル～)
特別第2分科会	防災教育・復興教育(～「防災教育」・「復興教育」の推進について～)

3 8月21日(金)・・・大会第2日目

記念講演・閉会式

メイン会場	岩手産業文化センター(アピオ)	5,000名
サブ会場	盛岡市アイスアリーナ	5,000名

III 大会日程

1 8月19日(水)・・・前日会議

時間	行事	会場
11:30～12:30	研修委員会打合せ	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング 3F 桂の間
13:30～15:00	分科会別会議	(各分科会会場)
15:00～16:00	全国事務局長会議	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング 4F メトロポリタンホール(南)
16:00～17:00	大会運営会議	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング 3F 星雲の間(東西)
17:30～19:30	レセプション	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング 4F メトロポリタンホール(東西)

2 8月20日(木)・・・大会第1日目

《開会式・基調講演》 9:40～12:00

会場 <メイン会場:岩手産業文化センター(アピオ) サブ会場:盛岡市アイスアリーナ>

主会場	全国高P連研究発表、第3分科会、特別第1分科会への参加者
副会場	第1分科会、第2分科会、第4分科会、特別第2分科会への参加者

時 程

時 間	行 事 等
8:30 (9:00～9:30)	受付 各会場 アトラクション ・メイン会場 ① 9:00～ 盛岡市立高等学校吹奏楽部 ② 9:15～ 盛岡第二高等学校箏曲部 ・サブ会場 ① 9:00～ 岩泉高等学校郷土芸能同好会 ② 9:15～ 北上翔南高等学校鬼剣舞部
9:40～	開会式 ①開式の辞 ②国歌斉唱 ③大会会長式辞 ④実行委員長開会の挨拶 ⑤来賓祝辞 ・文部科学大臣 ・岩手県知事 ・盛岡市長 ⑥来賓紹介 ⑦表彰式 全国高等学校PTA連合会会長表彰 ・個人の部表彰 ・団体の部表彰・感謝状授与 受賞者代表謝辞 ⑧閉式の辞
10:50～	基調講演 演題：「夢高くして足地にあり The sky is the limit 」 講師：村 上 雅 人 氏（芝浦工業大学学長）
12:00～12:50	昼 食 アトラクション ・メイン会場 ① 12:20～ 岩手県立大学「さんさ踊り」実行委員会 ② 12:35～ 宮古水産高等学校太鼓部 ・サブ会場 ① 12:20～ 花巻北高等学校応援団 ② 12:35～ 大船渡東高等学校太鼓部
12:50～14:00	分科会会場への移動と受付

《分科会》 14:00～16:30

テーマと会場

分 科 会	テ ー マ	会 場
全国高P連研究発表	全国高P連研究発表 ～青少年の健全育成に係る研究発表～	岩手産業文化センター (アピオ) (2,500名)
第1分科会	学校教育とPTA ～「生きる力」を育む教育とPTA活動～	盛岡市アイスアリーナ (1,500名)
第2分科会	進路指導とPTA ～「キャリア教育」の推進とPTA活動～	岩手県民会館 (1,500名)
第3分科会	生徒指導とPTA ～規範意識の醸成とPTA活動～	盛岡市民文化ホール (1,500名)
第4分科会	家庭教育とPTA ～家庭教育の役割とPTA活動～	盛岡グランドホテル (1,000名)
特別第1分科会	情報化社会と教育 ～スマートフォン・ネット依存と若者の生活スタイル～	ホテルトロボリタン盛岡ニューウイング (1,000名)
特別第2分科会	防災教育・復興教育 ～「防災教育」・「復興教育」の推進について～	都南文化会館 (キャホール) (1,000名)

3 8月21日(金)・・・大会第2日目

《記念講演・閉会式》

会 場 <メイン会場：岩手産業文化センター(アピオ) サブ会場：盛岡市アイスアリーナ>

メイン会場	第1分科会、第2分科会、第4分科会、特別第2分科会への参加者
サブ会場	全国高P連研究発表、第3分科会、特別第1分科会への参加者

時 程

時 間	行 事 等
8:30 (9:00~9:50)	受付 各会場 アトラクション ・メイン会場 ① 9:00~ 盛岡市立高等学校吹奏楽部 ② 9:25~ 盛岡第二高等学校箏曲部 ・サブ会場 ① 9:00~ 岩泉高等学校郷土芸能同好会 ② 9:25~ 北上翔南高等学校鬼剣舞部
10:00~11:10	記念講演 演題：「アドリブを生きる力」 講師：大友啓史氏(映画監督)
11:20~12:00	閉会式 ①開式の辞 ②大会会長挨拶 ③大会宣言採択 ④全国高P連旗返還・授与 ⑤次期開催地挨拶 ⑥実行委員長挨拶 ⑦閉式の辞

※ 全体会・分科会会場について

	第 1 日 目	第 2 日 目
	(午前) 開会式・基調講演 ----- (午後) 分科会	(午前) 記念講演・閉会式
全国高P連研究発表参加者	岩手産業文化センター(アピオ) 岩手産業文化センター(アピオ)	○盛岡市アイスアリーナ
第1分科会参加者	盛岡市アイスアリーナ 盛岡市アイスアリーナ	◎岩手産業文化センター(アピオ)
第2分科会参加者	盛岡市アイスアリーナ 岩手県民会館(大ホール)	◎岩手産業文化センター(アピオ)
第3分科会参加者	岩手産業文化センター(アピオ) 盛岡市民文化ホール	○盛岡市アイスアリーナ
第4分科会参加者	盛岡市アイスアリーナ 盛岡グランドホテル	◎岩手産業文化センター(アピオ)
特別第1分科会参加者	岩手産業文化センター(アピオ) ホテルメトロポリタン盛岡ニューイング	○盛岡市アイスアリーナ
特別第2分科会参加者	盛岡市アイスアリーナ 都南文化会館(キャラホール)	◎岩手産業文化センター(アピオ)

【開会式・基調講演会場】 8月20日(木)

《メイン会場》

岩手産業文化センター(アピオ)

《サブ会場》

盛岡市アイスアリーナ

全国高P連研究発表参加者 (全国高P連研究発表) 2,500名
第3分科会参加者 (生徒指導とPTA) 1,500名
特別第1分科会参加者 (情報社会と教育) 1,000名

映像配信

第1分科会参加者 (学校教育とPTA) 1,500名
第2分科会参加者 (生徒指導とPTA) 1,500名
第4分科会参加者 (家庭教育とPTA) 1,000名
特別第2分科会参加者 (防災教育・復興教育) 1,000名

【記念講演・閉会式会場】 8月21日(金)

《メイン会場》

岩手産業文化センター(アピオ)

《サブ会場》

盛岡市アイスアリーナ

第1分科会参加者 (学校教育とPTA) 1,500名
第2分科会参加者 (生徒指導とPTA) 1,500名
第4分科会参加者 (家庭教育とPTA) 1,000名
特別第2分科会参加者 (防災教育・復興教育) 1,000名

映像配信

全国高P連研究発表参加者 (全国高P連研究発表) 2,500名
第3分科会参加者 (生徒指導とPTA) 1,500名
特別第1分科会参加者 (情報社会と教育) 1,000名

IV 日程表

第65回全国高等学校PTA連合会大会岩手大会日程表

時 間	8月19日(水)	時 間	8月20日(木)	時 間	8月21日(金)
9:00		8:30	受付	8:30	受付
		9:00	アトラクション 9:00～9:30 (30分)	9:00	アトラクション 9:00～9:50 (50分)
10:00		10:00	開会式 表彰式 9:40～10:40 (60分)	10:00	記念講演 10:00～11:10 (70分)
11:00		11:00	基調講演 10:50～12:00 (70分)	11:00	
12:00	研修委員会打合せ 11:30～12:30 (60分)	12:00	昼食 アトラクション 12:20～12:50 (30分)	12:00	閉会式 11:20～12:00 (40分)
13:00		13:00	移動・受付 12:50～14:00 (70分)		終了
14:00	分科会別会議 13:30～15:00 (90分)	14:00	分科会 14:00～16:30 (150分) 全国高P連研究発表 第1分科会 第2分科会 第3分科会 第4分科会 特別第1分科会 特別第2分科会		
15:00		15:00			
16:00	全国事務局長会議 15:00～16:00 (60分)	16:00			
17:00	大会運営会議 16:00～17:00 (60分)	17:00	1日目終了		
18:00	レセプション 17:30～19:30 (120分)	18:00			
19:00		19:00			

V 分科会・特別分科会テーマと趣旨

全国高P連研究発表 研究発表

会場：岩手産業文化センター（アピオ）

「青少年の健全育成に関わる研究発表」（平成26年度調査結果の報告）

～高校生の現状と大人にできることを考える～

講師 木原雅子（京都大学大学院医学研究科社会疫学分野准教授）

（趣旨）

「全国高校生の生活・意識調査」は、本会の事業として平成12年度から実施してきたものです。全国の高校生を対象にその生活実態と意識を探るために継続的に実施しています。平成26年度も、高校生を取り巻く新たな事態や傾向を的確に把握できるように調査項目を改訂しました。

様々な課題解決のためには家庭・地域・学校が一体となって取り組まなければなりません。今回の調査で得られたデータや分析結果をもとに、子どもたちの健全育成について考えていきます。

第1分科会 事例発表と研究協議

会場：盛岡市アイスアリーナ

テーマ：学校教育とPTA

～「生きる力」を育む教育とPTA活動～

（趣旨）

平成25年度から学年進行で実施された新学習指導要領も、いよいよ今年度で導入が完成します。知識、道徳、体力にバランスがとれた力、言うところの「生きる力」の育成を根底に据えた内容となっております。

子どもたちが学びの彼方をしっかり見つけ、確かな学力と豊かな人間性、そして健康な体力をもって、自らの人生と社会の未来を切りひらいていけるようになることは、私たち保護者の大きな願いであります。そして、その支援と振興を図ることこそPTA活動の大きな柱のひとつでもあります。

今次分科会では、「生きる力」の育成に向けた支援はどうあればいいのかについて協議を行います。

【事例発表者】（関東）群馬県立前橋西高等学校（北信越）長野県松本深志高等学校
（東海）岐阜県立高山工業高等学校（九州）大分県立日出総合高等学校

【助言者】新妻二男（岩手大学教育学部長）
平藤 淳（岩手県立不来方高等学校校長）

第2分科会 事例発表と研究協議

会場：岩手県民会館（大ホール）

テーマ：進路指導とPTA

～「キャリア教育」の推進とPTA活動～

（趣旨）

少子高齢化社会の到来は、産業・経済の構造的変化や雇用の多様化・流動化をもたらし、就職・就業をめぐる環境も大きく変わってきました。そのような中で、特に若年層について、社会人・職業人としての資質・素養の欠如や精神的・社会的な自立の遅れなどが問題視されました。確かに、人間関係を上手く築けず自分で意志決定ができない、自己肯定感が持てず将来に希望が持てない、進路意識や目的意識が希薄なまま進学し就職しても長続きしないなど、子どもたちの生活や意識が大きく変化してきていることも事実です。

こうした状況に対処すべく政策として打ち出されたのが「キャリア教育」の推進ですが、実態調査報告書からはまだまだ多くの課題が指摘されております。

一人ひとりの子どもたちが自分の個性や適性等を十分に踏まえて、未来に向けた夢・希望・目標の実現に努力できるよう、PTAとしてどのように関わりを持ち、活動を行っていくべきかを取組事例を参考にしながら協議を行います。

【事例発表者】（北海道）北海道帯広柏葉高等学校（東京）東京都立向丘高等学校
（近畿）和歌山県立桐蔭中学校・高等学校（中四国）鳥取県立倉吉東高等学校

【助言者】佐々木幸寿（東京学芸大学総合教育科学系教育学講座教授）
土川 敦（岩手県立盛岡第二高等学校校長）

第3分科会

事例発表と研究協議

会場：盛岡市民文化ホール

テーマ：生徒指導とPTA
～規範意識の醸成とPTA活動～

(趣旨)

近年、社会構造の急激な変化や高度情報社会の進展の中で、子どもたちを取り巻く生活環境が大きく変わり、規範意識や倫理観の低下、コミュニケーション能力の未成熟さ、耐性の欠如など様々な問題が指摘されております。文部科学省においてはこのような情勢を憂慮し「生徒指導提要」を発刊するなどしてその対応に当たっております。

こうした中、PTAとして、特にも子どもたちの規範意識の醸成に向けどのように関わればよいのか、未来を見据えた子どもの育成という観点から研究協議を行います。

【事例発表者】 (東北) 青森県立五所川原工業高等学校 (関東) 神奈川県立鶴嶺高等学校
(北信越) 福井県立丹南高等学校 (中四国) 広島県立松永高等学校

【助言者】 伊藤正則 (岩手県教育委員会事務局学校教育室生徒指導担当主任指導主事)
和山博人 (岩手県立盛岡第三高等学校校長)

第4分科会

事例発表と研究協議

会場：盛岡グランドホテル

テーマ：家庭教育とPTA
～家庭教育の役割とPTA活動～

(趣旨)

近頃、核家族化や少子化の進行、ライフスタイルの変化、家庭教育に対する保護者の意識の多様化等々から、家庭の教育力がかなり低下しているのではないかと指摘をよく耳にします。

確かに、子どもたちは、物質的な豊かさや便利さの中で生活をしている一方で過度な受験競争等によるゆとりのない生活を送り、生活体験や社会体験に乏しく、コミュニケーション能力の未成熟さや耐性の欠如など様々な問題を露呈しております。

このような状況のもと、私たち保護者は、「子の教育について第一義的責任を有するもの」(教育基本法第10条「家庭教育」)であることを再確認するとともに、今こそ、未来を見据えた子どもたちの育成を期し、家庭の中で、地域の中で何ができるのか、また何を成すべきかについて、取組事例をもとに研究協議を行います。

【事例発表者】 (東北) 秋田県立能代高等学校 (東海) 静岡県立沼津東高等学校
(近畿) 奈良県立平城高等学校 (九州) 長崎県立西彼農業高等学校

【助言者】 藤原正義 (盛岡大学文学部教授)
高橋 隆 (岩手県立盛岡第四高等学校校長)

特別第1分科会

基調講演とパネルディスカッション

会場：ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

テーマ： 情報化社会と教育
～スマートフォン・ネット依存と若者の生活スタイル～

(趣旨)

インターネットや携帯電話等の急速な普及と機能の高度化は、子どもたちにも、メールやインターネット関連の情報機器を利用する機会の急激な増加をもたらしました。「出会い系被害」「個人情報漏洩」「高額請求」等が社会問題となり、フィルタリング対応が叫ばれたのもつい最近のことです。

この頃は、さらに加えてスマートフォンと無料通信アプリLINEの普及です。バス、電車内は勿論、歩行中や入浴・就寝時にさえ手から離さない極度の依存状態が指摘されております。LINEトークや掲示板・ブログ等へ誹謗・中傷を書き込むいわゆる「ネットいじめ」やコミュニケーショントラブルの問題も加わり、子どもたちの生活スタイルや人間関係づくりの面にも大きな影響があるものと考えざるを得ません。

この分科会では、次代を担う健全な若者の育成を考える時、このような問題にどのように対処していったらいいのかを考えていきます。

【講師/コーディネーター】 大谷 良光 (弘前大学「ネット&いじめ問題」研究会会長・前弘前大学教育学部教授)

【パネリスト】 菅原 一志 (岩手県立総合教育センター主任研修指導主事)

中村いずみ (平舘高等学校PTA副会長)

川袋 康史 (岩手県立伊保内高等学校教諭)

高校生2名、大学生2名

特別第2分科会

基調講演とパネルディスカッション

会場：都南文化会館 (キャラホール)

テーマ： 防災教育・復興教育
～防災教育・復興教育の推進について～

(趣旨)

学校は、子どもたちにとって安全で安心して学習活動等に励むことができる環境でなければなりません。それ故にこそ、事件、事故あるいは災害に対して、子どもたちの安全確保が的確になされるような日頃の目配りは極めて重要なこととあります。

一方、我が国は、あの未曾有の被害をもたらした東日本大震災をはじめ、台風による風水害や竜巻など、これまで多くの災害に見舞われてきました。これから先もそれら災害の発生が大いに見込まれ、地域によっては地震災害の発生確率が高まっているところも報道されております。

今や、事件、事故あるいは災害に対する子どもたちの安全確保はもちろんのこと、子どもたち自身が危険を予測し回避する力を身につけることができるよう指導していくことが喫緊の課題であります。更には、我が国においては、自然と共存しながら災害と向き合っていく視点での防災教育の展開も重要なこととあります。

そして、今次の大災害で被災された方々へは、経験を後世に語り継ぎ、自らの在り方を考え、未来志向の社会をつくることのできるよう私たちは全力で支援する必要があります。復興教育はきわめて重要なこととあります。

この分科会では、そうした防災教育・復興教育の事例を発表していただき、意見を述べ合い、協議を行います。

【講師/コーディネーター】 越野修三 (岩手大学地域防災研究センター教授)

【講師/パネリスト】 横田昭彦 (岩手県立高田高等学校校長)

【パネリスト】 熊谷栄明 (宮城県気仙沼高等学校元PTA会長)

平野公三 (前岩手県大槌町会計管理者)

森本晋也 (岩手県教育委員会事務局 学校教育室学力・復興教育担当主任指導主事)

会場位置図

○会場

岩手産業文化センター(アビオ)

〒020-0173 岩手県滝沢市砂込389-20 TEL.019-688-2000

岩手県民会館(大ホール)

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸13番1号 TEL.019-624-1171

盛岡市アイスアリーナ

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮5-4-1 TEL.019-658-1212

盛岡グランドホテル

〒020-8501 岩手県盛岡市愛宕下1-10 TEL.019-625-2111

盛岡市民文化ホール(マリオス)

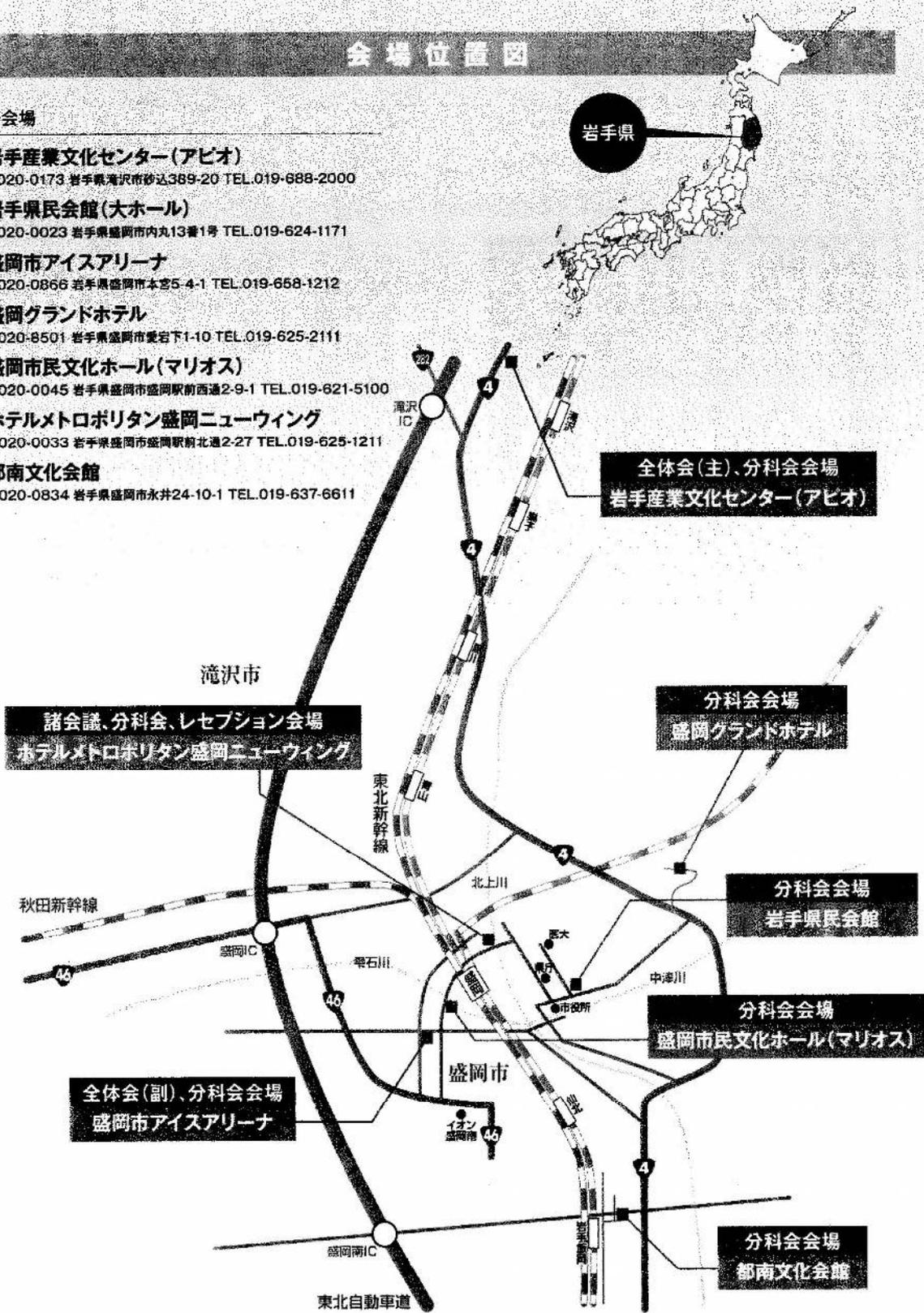
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅前西通2-9-1 TEL.019-621-5100

ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

〒020-0033 岩手県盛岡市盛岡駅前北通2-27 TEL.019-625-1211

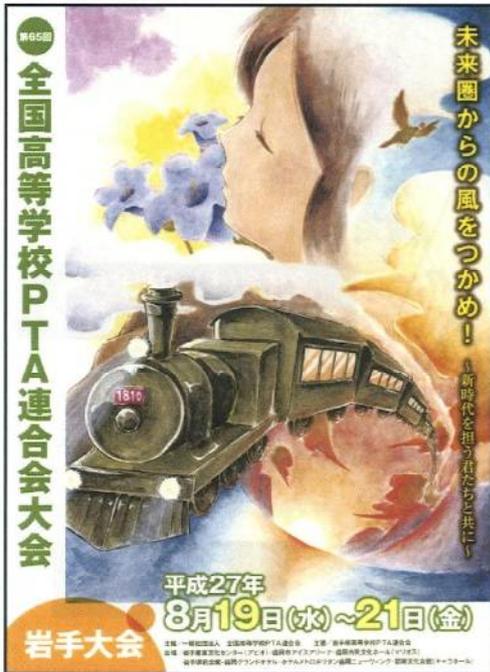
都南文化会館

〒020-0834 岩手県盛岡市永井24-10-1 TEL.019-637-6611



『岩手大会』 ポスター／シンボルマーク

◇ ポスター



デザイン：
岩手県立盛岡第一高等学校 2学年(H26)
戸田 遥

作成意図：
メインテーマである『未来圏からの風をつかめ!』や宮沢賢治の詩から、風に吹かれる少女や朝焼けをモチーフとし、また岩手県のシンボルである雉、宮沢賢治の作品「銀河鉄道の夜」から蒸気機関車を取り入れました。
美しく、かつ力強く輝く岩手を表現したつもりです。

◇ シンボルマーク



デザイン：
岩手県立盛岡第一高等学校 3学年(H26)
鎌田 碧衣

作成意図：
岩手県で最も有名な妖怪である「座敷わらし」が、「わんこそば」のお椀に入って、岩手県の特産物(冷麺、鮭、りんご、南部せんべい等)や銀河鉄道に囲まれている姿をイメージしたものです。